



### 発行者

北海道へき地・複式教育研究連盟  
[www.hamanasu.com/dohekire](http://www.hamanasu.com/dohekire)

委員長 田中 和 敏

編集責任者 伊藤 孝 一

印刷所 株式会社ビジネスサポート

虻田郡豊浦町字東雲町48-18 TEL0142-82-3313

題字 書家 濱谷 彩鶴 (はまや さいかく) 氏

## 北海道のへき地・複式教育の 充実・発展を目指して

北海道へき地・複式教育研究連盟委員長 田 中 和 敏



平成28年度の本連盟の事業を滞りなく実施することができました。特に、連盟の二大事業である、第65回全道へき地複式教育研究大会渡島大会と第66回全道へき地複式教育研究大会釧路プレ大会を、会員の皆様、関係機関の皆様の

ご尽力のお陰で、盛会裏に終えることができました。

渡島大会は、北海道新幹線開通に湧く渡島管内1市5町8校で分科会が開催されました。「渡島らしい教育の推進」「渡島らしい教育の発信」「渡島らしい教育の充実」を目指し、今後のへき地・複式教育のあるべき姿について学び・語り合う充実した大会となりました。

釧路プレ大会は、釧路管内7町8会場10校で、「学校間・家庭・地域社会と連携した教育活動の充実」「個性を伸長し、主体的に取り組む学習活動」等を目指した授業公開・研究協議が行われ、来年度の本大会につながる有意義な大会となりました。

10月に開催された第65回全国へき地教育研究大会青森大会には、北海道から19名の参加がありました。第5分散会では、深川市立北新小学校古畑聡子教頭が「指導方法の改善・充実」を図る北新小学校、多度志小学校、納内小学校の共同研

究を発表し、高い評価を受けました。

現在、研究推進委員を中心に、本年度の研究の成果と課題を整理し、第9次長期5カ年研究推進計画前期3カ年「実践検証・整理期」のまとめを行っているところです。平成29年度は、それをもとに「実践検証・整理期」として後期2カ年の研究を行うこととなります。

また、平成31年度からの第10次長期5カ年研究推進計画の策定も求められています。次期学習指導要領の方向性を捉えたうえで、へき地・複式教育のよさを最大限に発揮するための在り方について実践・研究できるものを目指して検討が進められています。次期総会で提案し、その後、各地区で検討いただく予定です。

本連盟には、財政基盤の確立や研究大会のあり方等の課題が数多くありますが、常任委員会では、これまで培ってきた北海道のへき地・複式教育の財産を生かし、各校の実践研究を積み重ね、加盟校同士がしっかりと手を取り合い、へき地・複式教育の充実・発展に向けて努力していくことを確認しています。会員の皆様、関係機関の皆様の更なるご理解とご支援をお願い申し上げます。

結びに、今年度、北海道へき地・複式教育連盟に対してご支援いただいた皆様に深く感謝とお礼を申し上げ、道へき・複連情報158号発行にあたってのご挨拶といたします。

## 平成28年度 会務報告

事務局長 ●●●●●

### 1 一般経過報告

#### 【5月】

- 13日(金) 平成28年度定期総会(9:00～)  
新旧役員の引き継ぎ、第1回組織検討委員会  
第1回常任委員会(午後開催)  
関係機関への就任挨拶回り(道教委)
- 20日(金) 日本教育公務員弘済会 教育研究団体助成金 決定 20万円
- 23日(月)～24日(火)  
第1回企画委員会、第1回研究推進委員会(ライフオート札幌)

#### 【6月】

- 1日(水) 全へき連 平成27年度 第6回理事会(東京 委員長)
- 2日(木)～3日(金)  
全へき連春季総会・第1回理事会(東京 委員長・事務局長)  
総会で推薦され、田中委員長 全へき連会長に就任
- 14日(火) 広報誌156号発行
- 20日(月) 広報誌156号HP更新依頼・更新
- 29日(水) 釧路大会開催に向け釧路教育局及び管内教育長会議において協力依頼を行う(委員長、事務局長)
- 30日(木) 田中委員長が全へき連会長就任に伴う道教委の新幹部への挨拶まわり(委員長・事務局長)  
第2回常任委員会(ホテルライフオート札幌 13:30～)  
北海道小学校長会との教育懇談会

#### 【7月】

- 11日(月)～12日(火)  
第2回企画委員会、第2回研究推進委員会(ライフオート札幌)
- 27日(水) 臨時常任委員会(13:30～)  
第2回組織検討委員会(15:00～ホテルライフオート札幌)
- 28日(木)～29日(金)  
全へき連第2回理事会(東京 委員長・事務局長)  
全へき連第1回図書編纂委員会(午後 東京 研究部長)

#### 【8月】

- 5日(金) 道小・道中・道公教 文教施策懇談

会及び各課懇談会(ポールスター札幌・道庁本館 事務局次長)

27日(土) 道へき・複連OB会役員会・総会(アパホテル 委員長、総務部長、事務局長)

#### 【9月】

- 23日(金) 第66回北海道へき地複式教育研究大会釧路プレ大会  
各分科会への巡回訪問(財政部長・事務局長・事務局次長)
- 28日(水) 第1回監査委員会、第3回常任委員会・第3回研究推進委員会
- 29日(木)～30日(金)  
評議委員会(午前) 第65回北海道へき地複式教育研究 大会渡島大会  
※1日目:全体会、分散会  
2日目:分科会

#### 【10月】

- 12日(水) 全へき連秋季総会、第3回理事会(青森～委員長、事務局長)
- 13日(木)～14日(金)  
第65回全国へき地教育研究大会青森大会(委員長、研究部長、事務局長)

#### 【11月】

- 26日(土) OB会役員会、研修会(札幌アパホテル 総務部長、事務局長)
- 30日(水) 全へき連第4回理事会(東京～委員長、事務局長)

#### 【12月】

- 1日(木)～2日(金)  
第42回全へき連研究推進協議会(東京～委員長、研究部長、事務局長)  
全へき連第2回図書編纂委員会(午後 東京 研究部長)
- 10日(土) OB会役員との臨時役員会(札幌 委員長、総務部長、事務局長)
- 22日(木) 弘済会 平成28年度教育研究団体助成研究成果報告書提出

#### 【1月】

- 18日(水) 私立三育小学校との意見交換(札幌三育小 16:00～)
- 19日(木) 僻地学校教育支援事業実施に関わる公務員弘済会との協議(日教弘北海道支部 10:00～)  
第4回常任委員会(ホテルライフオート札幌 13:30～)
- 27日(金) 全へき連第3回図書編纂委員会(午後 東京 研究部長)

## 【2月】

13日(月)～14日(火)

第4回企画委員会、第4回研究推進委員会(ライフポート札幌 研究部長)

道へき・複連情報158号発行

16日(木)～17日(金)

全へき連第5回理事会(東京～委員長、事務局長)

## 【5月】

11日(木) 平成28年度第5回常任委員会  
第2回監査委員会

12日(金) 平成29年度 北海道へき地複式教育研究連盟定期総会、第1回組織検討委員会、第1回常任委員会、関係機関挨拶回り(道教委ほか)  
地区各役員、研究大会、全へき新聞執筆者、情報配布数報告書配布  
基本調査集計表配布、引き継ぎ、第2回常任委員会案内状配布

## 2 一般業務報告

本連盟は、昭和23年に結成され68年目を迎えました。これまでの68年間、地域に根ざした教育を探求するとともにへき地校の教育条件整備を進め、確実に成果を重ねてきました。平成28年度においても、研究、組織、教育条件整備等の課題解決に向け業務を推進してきましたので、その概要を申し上げ会務の報告と致します。

◇研究面では、第9次長期5か年研究推進計画の3年目として、第65回全道へき地複式教育研究大会渡島大会、第66回全道へき地複式教育研究大会釧路プレ大会を開催いたしました。現地実行委員会、会場校並びに各地区へき地複式連盟(研究会)の多大なご努力とご協力により、実践的研究成果が全道に発信され、第9次長計の実践検証期として、その研究成果の発信をすることが出来ました。また、一昨年度から全道大会に統合することとなった実践研究発表大会は、今年も渡島大会1日目に分散会として開催し、全道各地のへき地・複式教育の実践発表と交流を行うことができ、新たな体制の研究大会として定着してきたことが確認出来ました。

◇組織面では、各市町村による学校規模適性配置計画の推進や少子化による児童生徒数の減少からへき地・小規模校の統廃合が進み、加盟校及び会員の減少が加速しております。これに伴う今後の組織や事業の在り方、財政運

営について、組織検討委員会の答申を受けて、ICT活用による業務推進、会議数の見直しなど、組織運営のスリム化と効率化に向け検討しました。

また、未加盟校への働きかけについては、各地区に道へき・複連発足の趣旨や目的、加盟することのメリット等についての啓発活動を行うなどの意識高揚に向けた取組をお願いしてきました。

◇教育条件整備については、3学級4定員や教頭未配置校の解消をはじめ、へき地複式校の抱える諸課題解決のため、全へき連、道小、道へき・複連OB会と連携しながら、関係機関に要請してきました。

・「へき地手当に関する規則の運用等についての一部改定」により平成22年4月から始まったへき地新級地の適用について、今後も、地域の実態に応じた算定であるか、適切な調整点であるかなどの検討に努め、国や道へ意見具申を続けていきます。

・全へき連のホームページ充実の一環である、全国のへき地小規模校のホームページとのリンク作業に取り組みました。加盟校は減少していますが、リンク校は情報環境の整備等により増加しています。

◇研究推進、組織確立、財政上の諸課題につきましては、組織検討委員会を設置して検討を重ねてきました。中間答申をもって報告させていただきましたが、連盟だけでなく各地区の課題も踏まえた論議を重ね、時代や社会環境の変化に対応した組織運営を目指してきました。

## 3 情報関係活動経過報告(概要)

事務局長次長 伊藤 孝一

5月13日(金) 定期総会で「道へき・複連情報」発行計画を承認  
情報156号原稿依頼

6月14日(火) 情報156号発行・発送  
20日(月) 道へき・複連HP更新

8月30日(木) 情報157号原稿依頼

11月15日(火) 情報157号発行・発送

1月6日(金) 情報158号原稿依頼

2月14日(火) 情報158号発行・発送

## 4 情報関係業務報告

## (1) 情報関係

「道へき・複連情報誌」(156, 157, 158号)を発行し、広報活動に努めました。156号では定期総会特集、157号では第65回全道へき地複式教育研

究大会渡島大会特集、158号では平成28年度の活動報告及び次年度の本大会である釧路大会やプレ大会の後志大会についてのお知らせを掲載しました。今年度開催された渡島大会の推進に際し、ご尽力いただいた渡島へき・複連の皆様をはじめ、多くの方に情報提供や原稿執筆を賜りましたことに改めて感謝とお礼を申し上げます。

また、北海道教育大学学校・地域教育研究支援センターの協力を得て、道へき・複連ホームページの内容更新をさせていただいていることに重ねて感謝いたします。

最後になりましたが、各地区のへき・複連事務局におかれましては、お忙しい中情報提供、加盟校への連絡や配布、お願い等に対して快くご協力いただいたことに心よりお礼を申し上げます。

〈各号の主な内容〉

#### 【第156号】

平成28年度 道へき・複連定期総会特集号

- ・定期総会報告
- ・役員・代議員研修会の概要
- ・第65回全道へき地複式教育研究大会渡島大会の案内
- ・第66回全道へき地複式教育研究大会釧路プレ大会の案内

#### 【第157号】

第65回全道へき地複式教育研究大会渡島大会特集号

- ・渡島大会の報告
- ・第66回全道へき地複式教育研究大会釧路大会案内

#### 【第158号】

平成28年度 道へき・複連活動報告特集号

- ・今年度の活動報告
- ・第66回全道へき地複式教育研究大会釧路大会に向けて
- ・第67回全道へき地複式教育研究大会後志プレ大会に向けて

〈道へき・複連ホームページの内容〉

- 1 道へき・複連刊行物
- 2 研究主題
- 3 全道へき地複式教育研究大会関係・プレ大会関係
- 4 全国へき地教育研究大会関係
- 5 実践研究発表大会
- 6 要覧
- 7 へき地教師の歌「太陽となろう」・シンボルマーク

#### (2) 「全国へき地教育新聞」関係

#### ① 購読拡大の取組

「全国へき地教育新聞」は、全へき連とへき地・複式校を結ぶ唯一の機関紙であり、へき地・複式教育に係る各種情報を掲載するとともに、私たちの教育実践を発表し、広く交流できる新聞です。しかしながら、へき地・複式校の減少に伴い、購読料の減少が発行を困難にする要因になってきている現状もあります。読者の購読料により刊行される新聞のため、より多くの読者に購読されるよう今後も努めていかなければなりません。各地区へき・複連で納入する場合については一部に付き150円の還元をさせていただいていることをお知らせしながら、改めて各地区での「全国へき地教育新聞」の購読強化をお願いするところです。

〈取組の手立て〉

- 購読率の低い地域に購読校を増やすよう働きかける。
- 各地区へき・複連に未購読校への働きかけをすると同時に、関係機関に購読料の予算化を働きかける。
- 各地区へき・複連の会議、会合において購読の呼びかけを行う。
- 各地区へき・複連に「全国へき地教育新聞」担当者または係を置き、地区内の購読校の把握をし、集金事務を行う。
- 「全国へき地教育新聞」担当者を決め、地区へき・複連との連携を図る。

#### ② 「全国へき地教育新聞」原稿執筆の取組

原稿種別、送付月を地区ごとに割り振り、執筆をお願いしました。（今年度原稿本数38本）

これまでの各地区へき・複連および執筆者各位のご協力に対しまして心より感謝とお礼を申し上げます。なお、全国へき地教育新聞編集局の依頼で、執筆原稿はメールまたは封書にて執筆者が直接送信（返信）することになっておりますので、次年度も同様をお願いいたします。

〈原稿種別〉

- 1 論評（市町村教育長、各局指導主事等）
- 2 山紫水明（校長）
- 3 随想（教頭、教務主任、学級担任等）
- 4 心温まる話（どなたでも）
- 5 私の推薦する一冊の本（校長、教頭等）
- 6 やすらぎ保健室（養護教諭）
- 7 さわやか事務室から（事務職員）
- 8 わが町・わが学校（保護者）
- 9 研究実践校紹介（実践校）
- 10 子どもたちの学校紹介（児童・生徒）
- 11 子どもたちの作品（児童・生徒）

## 平成28年度 総務部報告

副委員長 古田 統

### 1 活動経過報告

- 5月13日 道へき・複連総会  
第1回組織検討委員会  
第1回常任委員会
- 6月30日 第2回常任委員会
- 7月 各地区の現状と課題調査  
全へき連基本調査
- 7月27日 臨時常任委員会  
第2回組織検討委員会
- 9月23日 第66回全道へき・複研究大会  
釧路プレ大会
- 9月28日 第3回常任委員会
- 9月29日～30日  
第65回全道へき・複研究大会渡島大  
会評議委員会(29日)  
※組織検討委員会中間報告
- 1月19日 第4回常任委員会
- 5月11日 第5回常任委員会
- 5月12日 平成29年度定期総会

### 2 平成28年度 教育予算要望

(基本的な要望事項)

1. 教員定数の配置基準および学級編成基準の改善
2. 教職員の生活の安定・向上のための改善
3. 教職員の資質向上に関わる研修についての改善
4. 学校経営の適正化と充実
5. へき地教育の推進についての改善
6. へき地勤務条件の充実

上記「基本的な要望事項」にもとづき、「北海道文教施策・予算策定に関する要望活動」「全へき連と連携した要望活動」を中心に行ってきた。その中で「平成28年度の文教施策と予算策定に関する要望書」に、「へき地・複式校、小中併置校、小規模校における条件整備」という新たな項目を起すことにつながり、要望をより強調することができた。このことは、道へき・複連として画期的なことであり、大きな成果であった。

今後も、へき地・複式教育の教育環境の向上を

目指し、粘り強く取り組んでいく必要がある。

### 3 へき地級別指定見直しに関する取組

平成27年12月の見直しにより、北海道において、へき地級の上昇は189校、下降が50校となった。宗谷管内では、管内全体で対策委員会等を組織し、実態に合った基準づくりにむけた調査や意見反映をしたり、道や道教育委員会、文科省への陳情などを行っている。各地区でも、へき地級指定に関わる情報交換や地教委等との連携を深めた取り組みが一層重要である。

今後も次期改定に向けて、道教委の動きを注視しながら「地域の実態に応じた算定であるか。」「適切な調整点であるか。」などの情報収集に努め、全へき連、道小、道へき・複連O B会と連携を深めていく。

### 4 調査活動

例年実施している「全へき連基本調査」を実施

### 5 組織検討委員会の活動概要

#### (1) 組織検討委員会の構成

- 委員長：小助川 浩(道南ブロック・檜山)
- 委員：志田 純一(道央ブロック・後志)  
：小澤 真弓(道北ブロック・留萌)  
：松村 賢一(道東ブロック・釧路)

他に常任委員(田中委員長、古田総務部長、岡嶋研究部長、辻崎財政部長、柿崎事務局長、伊藤事務局次長)を加え、計10名で構成

#### (2) 検討課題

- ① 研究大会・プレ大会のあり方
- ② 最終報告に基づく具体的取組について
  - ・組織の活性化と加盟校拡大
  - ・研究活動の充実と深化
  - ・財政問題

#### ③ その他：今日的課題

- ・へき地級の改正に関わること
- ・社会及び理科等の学年別指導の充実

#### (3) その他

9/29の評議委員会における中間報告で意見等がなく、中間報告どおりの確認をいただいたと認識し、「第3回組織検討委員会」(1/19)の開催を見送った。

## 平成28年度 大会部報告

副委員長 岩崎 透

### 1 大会名

第65回全道へき地複式教育研究大会渡島大会  
第66回全道へき地複式教育研究大会釧路プレ大会  
第65回全国へき地教育研究大会青森大会

### 2 渡島大会の概要

#### (1) 研究主題

「主体的・創造的に学び、豊かな心で  
たくましくふるさとを切り拓く子供の育成」  
～へき地・複式教育の特性を生かし、児童生徒一人一人に未来に「生きる力」をはぐくむ学校・学級経営と学習指導の充実をめざして～

#### (2) 大会スローガン

「伝統に息づくロマン溢れる渡島の大地から未来を創る子らに 確かな学びと豊かな心を！」

#### (3) 開催期日

平成28年9月29日(木)～30日(金)

#### (4) 大会内容

◆29日(木)：フォーポイントバイシエラトン函館  
開会式  
基調報告  
分散会(学校・学級経営、学習指導)  
閉会式(感謝状贈呈式、次期開催地挨拶)

◆30日(金)：1市5町8会場

第1分科会 … 松前町立小島小学校  
第2分科会 … 知内町立涌元小学校  
第3分科会 … 北斗市立島川小学校  
第4分科会 … 七飯町立峠下小学校  
第5分科会 … 七飯町立大沼小学校  
第6分科会 … 森町立濁川小学校  
第7分科会 … 八雲町立東野小学校  
第8分科会 … 八雲町立野田生小学校

#### (5) 成果と課題

成果として、全道的に小規模・複式校が減少していく中で、複式研究を進めていく困難性を近隣の単式校や中学校との連携を深めながら、各市町複式教育研究連盟との協働での実行委員会体制を確立させ、研究を推進・深化させることができた。また、16人学級の授業やICT機器を活用した授業など、複式校の今日的な課題についての授業公開を実施し、研究を推進・深化することができた。第9次長期5か年計画の3年次として、昨年の成果と課題を引き継ぎ、研究の方向性や深化を図ることができた。

渡島大会の特徴として、組織外の単式校や私学からの参加者があった。

課題としては、2学期制の学校が増える中、期日が学期末と重なり参加数の減少があった。また、分散会の運営の在り方について、検討が必要である。

### 3 釧路プレ大会の概要

#### (1) 研究主題

「主体的・創造的に学び、豊かな心で  
たくましくふるさとを切り拓く子供の育成」  
～へき地・複式教育の特性を生かし、児童生徒一人一人に未来に「生きる力」をはぐくむ学校・学級経営と学習指導の充実をめざして～

#### (2) 大会スローガン

「タンチョウはばたく釧路の大地から  
未来を切り拓く子らに 豊かな心と確かな学力を！」

#### (3) 開催期日

平成28年9月23日(金)

#### (4) 開催会場

第1分科会 … 釧路町立昆布森小学校  
第2分科会 … 厚岸町立太田小学校  
第3分科会 … 浜中町立散布小中学校  
第4分科会 … 標茶町立沼幌小学校  
第5分科会 … 標茶町立塘路小中学校  
第6分科会 … 弟子屈町立奥春別小学校  
弟子屈町立美留和小学校  
弟子屈町立和琴小学校  
第7分科会 … 鶴居村立下幌呂小学校  
第8分科会 … 白糠町立茶路小中学校

#### (5) 釧路大会の意義

次年度、第9次長期5か年計画の4年目として、全道大会の開催に向け組織作りや研究体制の基盤を固めると共に、関係者の連携を深め、実り多い全道大会となるようへき地「3特性」の実践を深める大会とする。

### 4 全国青森大会

#### (1) 研究主題

「ふるさとで心豊かに学び、新しい時代を切り拓く子どもの育成」  
～へき地・小規模・複式学級を有する学校の特性を生かした 学校・学級経営と学習指導の深化・充実をめざして～

#### (2) 大会スローガン

「北のまほろば青森で ともに紡ごう！  
新たな時代の豊かな学びを」

#### (3) 開催期日

平成28年10月13日(木)～14日(金)

#### (4) 分散会提言

##### ①第5分散会

課題5(学習指導の深化・充実)

・学習意欲の向上や個に応じたきめ細かな指導を重視した指導方法の改善・充実を図る。

##### ②提言発表者(空知地区)

深川市立北新小学校 古畑 聡子 教頭

##### ③研究主題

主体的創造的に学び、ふるさとに誇りをもち、新しい時代を切り拓く心豊かな子どもの育成

## 平成28年度 研究部報告

研究部長 岡嶋 治

### 1 研究主題

『主体的・創造的に学び、豊か心でたくましくふるさとを切り拓く子供の育成』～へき地・複式教育の特性を生かし、児童生徒一人一人に未来に「生きる力」をはぐくむ学校・学級経営と学習指導の充実をめざして～

### 2 研究活動の重点と成果

道へき・複連第9次長計の3年次として、実践研究を充実させ、地域に根ざした魅力ある教育活動の創造・発展に努める。

#### 《重点》

- (1) 「第65回全道へき地複式教育研究大会渡島大会」の成功を期した現地実行委員会との連携及び共同運営
- (2) 従来の実践研究大会にかわる発表の場の企画・実践（全道へき複研分散会）
- (3) 道へき・複連第9次長計「実践研究検証期」（第3年次）としての確かな実践，記録の累積・収集
- (4) 「第66回全道へき地複式教育研究大会釧路プレ大会」の効果的な開催
- (5) 研究資料・情報等の編集と発行（「研究主題・指導形態等一覧」「研究部情報」）
- (6) 各地区へき・複連及び全国へき地教育研究連盟、教育関係各機関・団体との連携
- (7) 道へき・複連第10次長計の策定に向けての資料収集と原案作成

#### 《主な成果》

#### ◎第65回全道へき地複式教育研究大会渡島大会

9月29～30日、渡島管内8会場で開催され、全道から600名を超える参加者があった。大会スローガン『伝統に息づくロマン溢れる渡島の大地から 未来を創る子らに 確かな学びと豊かな心を！』のもと、授業公開、熱心な研究協議が行われた。

#### ◎第66回全道へき地複式教育研究大会釧路プレ大会

9月23日、釧路管内8会場において開催され、全道各地から延べ350名以上の参加者があった。大会スローガン『タンチョウはばたく釧路の大地から 未来を切り拓く子らに 豊かな心と確かな学力を！』のもと、自ら学び合う児童の育成等について授業公開、研究協議が行われた。

#### ◎全道へき複研渡島大会分散会

9月29日、フォーポイントバイシェラトン函館において、第65回全道へき地複式教育研究大会渡島大会の全体会後に実施した。

管内3地区から、学校・学級経営（1本）と学

習指導（2本）の提言発表が行われた。第9次長計に基づいて発表された提言はいずれも質が高く、活発な研究協議がなされた。

#### ◎研究主題等一覧の集計と活用

全道の加盟校の研究主題・研究分野，教科等指導形態について調査集計し、分析を加えてまとめた。各地区及び加盟校にCD化して配布，HPにも掲載して活用を図っている。

### 3 研究部事業報告

#### 5月23日 第1回企画委員会

- ・企画委員会の体制と各業務内容の確認
- ・全道へき研渡島大会の参加協力体制について
- ・日程や役割分担の確認と研究推進委員会の運営について
- ・10次長計の策定に向けて

#### 5月23日～24日 第1回研究推進委員会

- ・平成28年度研究部計画の確認
- ・研究推進委員の業務と役割分担
- ・釧路プレ大会の助言者決定
- ・10次長計の策定に向けて
- ・各管内へき・複連活動状況交流

#### 7月11日 第2回企画委員会

- ・全道へき研、プレ研の進捗状況
- ・分散会の進め方について
- ・今後の研究と資料蓄積について

#### 7月11日～12日 第2回研究推進委員会

- ・研究主題・指導形態等調査発行
- ・研究部情報第1号発行
- ・分散会の運営検討について

#### 9月23日 釧路プレ大会

- ・釧路管内8会場（研究協力者）

#### 9月28日 第3回研究推進委員会

- ・分散会の運営確認
- ・研究部情報第2号発行計画

#### 9月29日～30日 渡島大会

- ・分散会開催
- ・渡島管内8会場（研究協力者）

#### 2月13日 第4回企画委員会

- ・今年度の活動のまとめと次年度への展望
- ・分散会の反省
- ・次年度の事業計画、研究推進体制について
- ・10次長計原案検討

#### 2月13日～14日 第4回研究推進委員会

- ・研究部情報第2号の発行
- ・今年度の事業反省・まとめ
- ・次年度の全道大会分散会について
- ・各管内へき・複連活動状況交流
- ・次年度の事業計画、研究推進体制について
- ・10次長計原案検討

# 平成28年度 財政部報告

財政部長 辻崎 洋一

## 1. 平成28年度業務執行について

- (1) 会計業務については、事務局及び各部、各委員会、各地区へき・複連との連携を図り、計画に従って執行しております。
- (2) 道へき・複連会費については、当加盟会員数の増加により、会費収入がやや増加いたしました。一部運営資金も活用しながら、計画に従って執行してまいりました。
- (3) 全へき連会計につきましては、へき地級の見直しにより会員数が増加した事により負担金が微増しました。全へき連への免除申請を行って負担金を決定し、全へき連の負担金送付を終えております。また、管理職負担金につきましては、各地区のご協力により入金され、全へき連への送金を終えております。
- (4) 刊行物の購読促進につきましては、全へき連発行のへき地・複式・小規模学校からの発信「未来への創造」のみの取組となりました。各地区へき・複連においては発刊の趣旨をご理解賜り、ご協力いただいたことに感謝いたします。  
 なお、送金先については、各地区へき・複連から直接全へき連へ納入することになっております。
- (5) 運営資金会計は、拠出金の大幅増となりました。納入された金額の中から規定通り全へき連へ送金いたします。各地区へき・複連のご理解とご協力で心より感謝申し上げます。

## 2. 平成29年度の予算編成について

- (1) 予算編成における収入の見込みについては、学校の統廃合や学校規模の縮小により、今後も学校数・教職員数の減少等が予想され、昨年度以上に厳しい情勢となると思われます。予算編成の基礎資料として、2月中旬に各地区のへき・複連の加入校数・教員数を調査し、収支予定額を把握した上で予算を編成します。各地区の担当者の皆様にはお手数をかけますが、よろしくお願いたします。
- (2) 平成29年度の一般会計については、諸活動の充実に努めるとともに、削減可能な項目をより意識して予算編成を行い、平成29年度総会に提案します。
- (3) 現在執行中の旅費規定は、予算編成の作業の中で検討し、削減が必要な場合ご協力を願うことも予想されます。
- (4) 全へき連会計は、納入される負担金の範囲内で執行します。各地区へき・複連においては引き続きへき地教員の納入拡大への働きかけや、養護教員・事務職員の納入、及び未加入校の加盟を促すようお願いいたします。
- (5) 刊行物会計については、平成29年度も、本道の実践も盛り込まれた全へき連の刊行物発行が予想されます。各地区へき・複連においては、研究図書購入として予算付けし、購読促進の取組をぜひお願いいたします。

### 平成28年度 一般会計執行状況 (平成29年2月15日見込)

#### 【収入の部】

項目	28年度予算	決算見込	増・減(▲)
会費	3,307,044	3,344,628	37,584
繰越金	121,543	121,543	0
繰入金	1,000,000	1,000,000	0
雑収入	363	589	226
合計	4,428,950	4,466,760	84,796

#### 【支出の部】

項目	28年度予算	決算見込	増・減(▲)
研究大会費	510,000	510,000	0
研究調査費	1,850,000	1,858,990	▲ 8,990
研成刊行費	700,000	700,000	0
事務局費	1,368,950	1,093,309	▲275,641
合計	4,428,950	4,162,299	▲266.651

◇学校数 251校 ◇教員数 1,578名

【差引残高(2/15見込)】 4,466,760円 - 4,162,299円 = 304,461円



## 第66回 全道へき地複式教育研究大会 釧路大会の開催に向けて

釧路へき地複式教育研究連盟

研究部長 佐藤 健二

### 1 はじめに

昨年9月23日(金)に8会場において、第66回全道へき地複式教育研究大会釧路プレ大会が開催されました。

釧路へき地複式教育研究連盟は、釧路管内7町村にまたがる小学校20校で構成されております。釧路管内には小学校が59校あり、釧路市を除きますと、6割以上の学校が複式校ということになります。その中で各町村には、へき地複式教育の組織があり、本連盟が中心となり、プレ大会に向けて研究推進を進めてまいりました。各町村の組織では、授業研究や指導案検討が6～9月の間で精力的に行われ、釧路プレ大会に向けた会場校の授業改善はもちろん、研究協力校にとっても授業力向上につながる貴重な取組となりました。

こうした取組を経て開催された釧路プレ大会には、管内・管外より全会場合わせて360名程の教職員及びご来賓・学校関係者の皆様にご参加いただきました。公開授業・研究協議では、複式授業の在り方について多くのご意見・ご助言をいただくことができました。この場をお借りいたしました改めて心からお礼を申し上げます。

また、本研究大会の開催にあたり、多大なるご支援・ご協力をいただきました北海道へき地・複式教育研究連盟をはじめ、北海道教育庁釧路教育局、各町村教育委員会、北海道教育大学釧路校、会場校・研究協力校等、教育関係団体の皆様にご心より感謝申し上げます。

### 2 釧路プレ大会の成果と課題

釧路プレ大会は、北海道へき地・複式教育研究連盟第9次長期5か年研究推進計画に則り、実践検証を進めてまいりました。また、各校では、自校の研究課題・研究内容と第9次長計の2分野8課題研究内容との関連を明確にし、研究推進に努め、以下のような成果と課題が明らかになりました。

#### 【成果】

- ・学習規律や学習リーダーを含め、形式や方法を統一することにより、落ち着いた雰囲気ですべて集中して取り組むことができ、学習効果が上がり、確かな学力の定着につながってきている。
- ・集合学習において、事前の「分習」の内容を明確に位置づけ、「全習」で的確な学習内容を展

開することによって、学習活動に広がりが生じ協力的に学ぶことができた。

- ・子供の思考に沿った教材教具や、体験的な活動、算数的活動、ICTの活用等により、確かな自力解決力が身につけてきている。
- ・学習内容を事前に提示する等、学習の流れを視覚化することによって、見通しをもった学習につながり、主体的な学びができた。

#### 【課題】

- ・自ら学ぶ能力や態度をさらに高めるために、「見方・考え方・表し方」を効果的に活用できる手立ての工夫や同時進行・同時間接指導等の学習過程の工夫・改善が必要である。
- ・考える力を伸ばし、確かな学力の定着を図るために、子供の思考の可視化に結びつくノートやワークシート等の工夫、その指導の充実を図ることが必要である。
- ・小集団での交流の場を含め、伝え合い学び合うコミュニケーション能力の育成を図るために、が交流の観点を明確にもち、方向性を具体的に示すことが必要である。

### 3 釧路大会に向けて

第66回全道へき地複式教育研究大会釧路大会は、北海道へき地・複式教育研究連盟第9次長期5か年研究推進計画の4年次目の「実践検証整理期」として、十勝大会、宗谷大会、渡島大会で累積された多くの実践を「いつでも」「どこでも」「だれでも」が実践できるよう、成果の典型化・定型化を目指しております。

そこで、釧路大会では下記の3つの合言葉で準備を進め、へき地複式教育の大きな魅力に触れていただけるような研究大会にしていきたいと考えております。

- |                                    |
|------------------------------------|
| (1) オール釧路で、へき地複式教育のよさを<br>実感できる大会に |
| (2) 釧路で培ってきたへき地複式教育を<br>全道へ発信する大会に |
| (3) 子どもの実態から出発し、<br>子どもへ返す大会に      |

その第66回全道へき地複式教育研究大会釧路大会は、大会スローガン「タンチョウはばたく釧路の大地から 未来を切り拓く子らに 豊かな心と確かな学力を」の下、今年9月21日・22日に開催いたします。全道の皆様と学び・語り合い複式教育の充実と発展に寄与する大会となるよう努めてまいります。皆様のご参加を心からお待ちしております。

## 第67回 全道へき地複式教育研究大会 後志プレ大会の開催について

後志へき地・複式教育研究連盟

事務局長 本田 明美

### 1 はじめに

本研究連盟は、小樽市を除く後志管内19町村中13町村にまたがる小学校16校、中学校1校で構成されております。後志管内には41校の小学校がありますが、そのうちの31校がへき地校で、その約5割が複式校ということになります。

今年度は、道へき・複連第9次長期5カ年研究推進計画の3年次として、9次長計の研究推進計画を策定し、『主体的・創造的に学び、豊かな心でたくましくふるさとを切り拓く子供の育成』に向けて研究と実践を積み重ねてきました。「へき地・小規模・複式」の三特性を積極的に生かした各町村の研究内容を交流し、学び合いながら、21世紀を担う子供たちに自らの力でたくましく主体的に生き抜いていくための自己教育力を育むことを目指してきました。地域に根ざし、「豊かな心」を育てる学校・学級経営の創造、並びに子供たち一人一人に「確かな学力」を育む学習指導の創造とを両輪に魅力ある教育活動の推進に努めて参りました。

### 2 管内の研究推進の方針

プレ大会開催に向け、本教育連盟では実行委員会を組織して、以下に示す研究推進の方針に従って取組を進めています。

- (1) 第9次長計の研究主題「主体的・創造的に学び、豊かな心でたくましくふるさとを切り拓く子供の育成」～へき地複式教育の特性を生かし、児童生徒一人一人に未来に「生きる力」をはぐくむ学校・学級経営と学習指導の充実をめざして～のもと、主題に迫る実践の整理に努める。
- (2) 学校・学級経営の深化・充実においては、地域の教育課題を踏まえ、家庭・地域社会と連携し、『豊かな心』を育てる学校・学級経営の創造を目標として、特色ある教育計画、開かれた学校・学級経営、豊かな心をはぐく

む教育活動等の創造と推進、実践的な共同研究の推進に努める。

- (3) 学習指導の深化・充実においては、地域に根ざした、主体的・創造的な学び合いにより、『確かな学力』を育てる学習指導の創造を目標として、個性の伸長を重視した指導計画・実践・評価、主体性を育てる学習指導過程、地域に根ざした学習内容等の改善・充実に努める。

### 3 後志プレ大会の概要

- (1) 大会期日：平成29年 9月29日(金)
- (2) 会 場：後志管内 8会場
- (3) 各分科会(H28現在の校内研究教科, 年次)  
(H28, 4現在の学校規模)
 

ア	寿都町立潮路小学校	〈算数 2/3〉
	普3 + 特2 (複式3学級)、	児童数32人
イ	蘭越町立昆布小学校	〈算数 2/2〉
	普4 (複式2学級)、	児童数36人
ウ	ニセコ町立近藤小学校	〈国語 1/1〉
	普4 (複式3学級)、	児童数14人
エ	倶知安町立西小学校樺山分校	〈算数 1/3〉
	普3 + 特2 (複式3学級)、	児童数26人
オ	真狩村立御保内小学校	〈国語 1/3〉
	普3 (複式3学級)、	児童数11人
カ	喜茂別町立鈴川小学校	〈算数 1/3〉
	普3 (複式3学級)、	児童数 9人
キ	神恵内村立神恵内小学校	〈算数 1/3〉
	普4 + 特1 (複式2学級)、	児童数34人
ク	赤井川村立都小学校	〈算数 2/4〉
	普3 + 特1 (複式3学級)、	児童数18人

### 4 おわりに

後志は北海道の南西側に位置しておりますので、道東や道北方面からはかなりの距離があると思われませんが、全道各地より多くの皆様方にご参加いただきますようお願い申し上げます。また、皆様からの発展的なご批正を次年度の後志本大会の成功に役立てるべく後へき連の組織をあげて取り組みますので、第67回全道へき地・複式教育研究大会後志プレ大会にご参加いただきますよう、心よりお願い申し上げます。